株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告 当社ホームページに掲載いたします。ただし事故その他やむを得ない事由によって、電子公告により行うことができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　3月31日、9月30日		
単元株式数	100株		
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部		
証券コード	4283		

■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、以下の電話照会先にご連絡ください。

（株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社	（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（株主名簿管理人事務取扱場所）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部	（電話照会先）	0120-176-417
		（インターネットホームページ）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

ホームページのご案内

当社の企業活動、商品などに関する詳しい情報につきましては、「パナソニック電工インフォメーションシステムズホームページ」でご覧になれます。こちらもどうぞご利用ください。

http://panasonic-denkois.co.jp/

表紙の答え

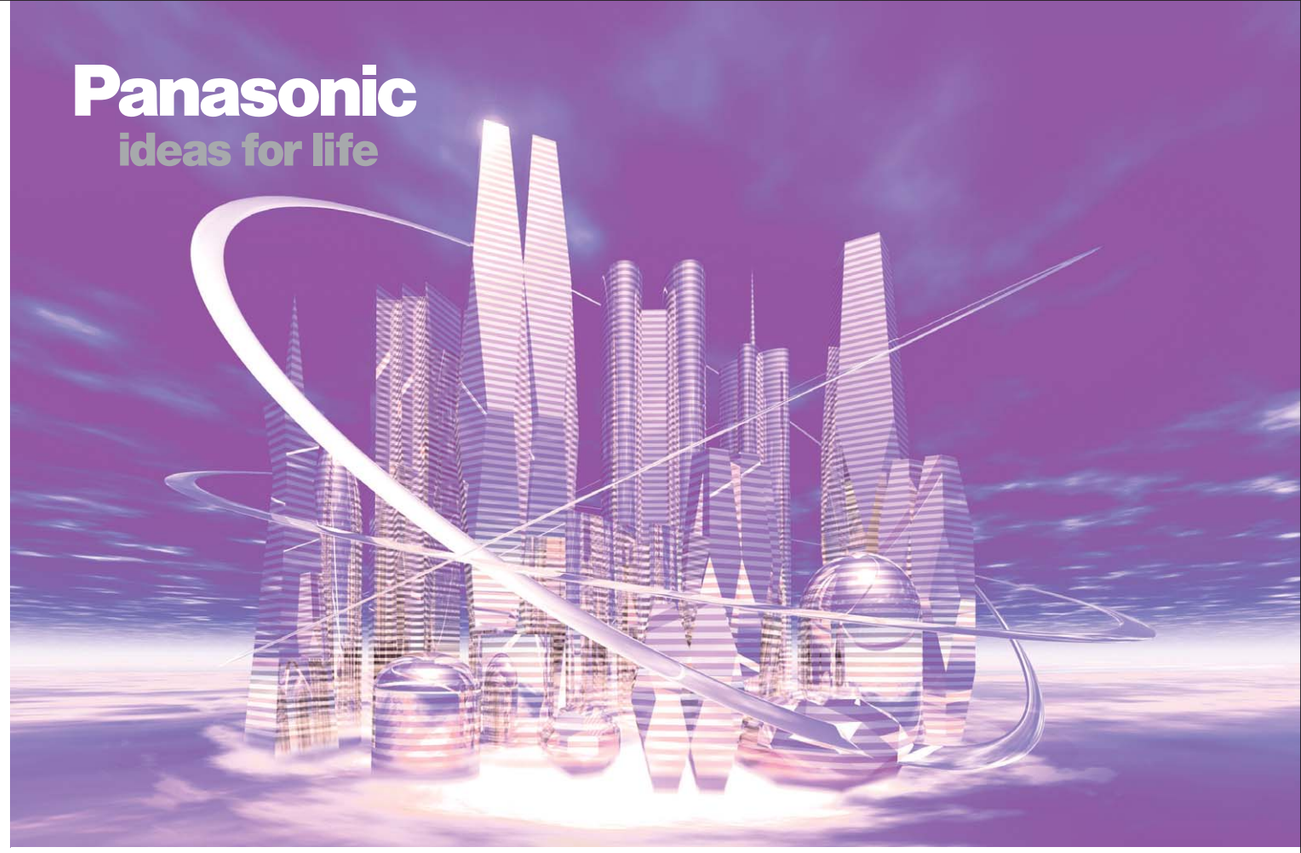
2011年12月31日現在の **従業員数**（連結）

売上、従業員数ともに、設立当初の2倍以上となりました。

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

この冊子に関するお問い合わせ先
電話 06-6906-2801（代表）

※本誌に記載された社名および製品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。



第14期　第3四半期　株主通信

証券コード:4283　2011（平成23）年4月1日～2011（平成23）年12月31日

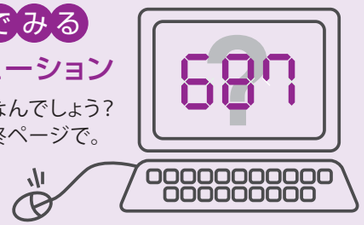
P02_トップインタビュー
これまで以上に、積極的なチャレンジを

P03_特集
これからの電気自動車
～電気自動車の世の中でITが担う役割とは?～

P06_ISアーカイブ ～これまでの歩みから～
ユーザーとしての経験をお客さまへ

数字でみる ISソリューション

この数字はなんでしょう?
答えは最終ページで。

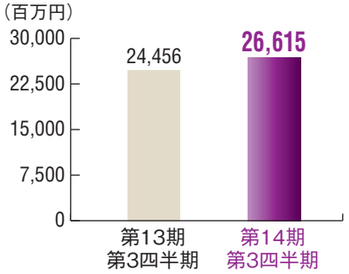


パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

当第3四半期連結累計期間　業績ハイライト

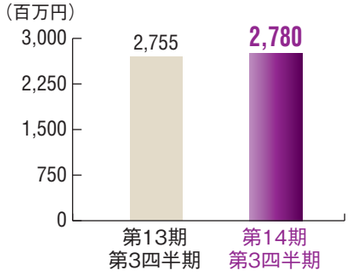
売上高

266億15百万円 UP
（前年同期比 8.8%増）



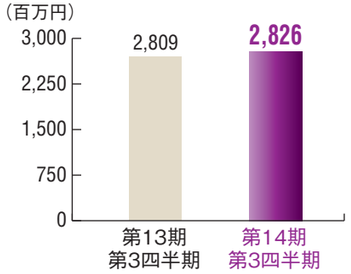
営業利益

27億80百万円 UP
（前年同期比 0.9%増）



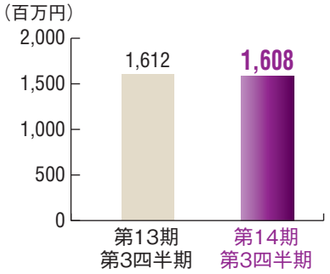
経常利益

28億26百万円 UP
（前年同期比 0.6%増）



四半期純利益

16億08百万円 DOWN
（前年同期比 0.2%減）



1株当たり四半期純利益

150円95銭 DOWN
（前年同期比 0円34銭減）

Point

- 中期経営計画達成に向け、パナソニック電工※グループ外のお客さまへの拡販を積極的に実施するとともに、パナソニックグループ事業再編に向けたITシステム改編にも重点的に取り組み、増収に。
- 営業利益、経常利益は増益を確保するも、構造改革費用を特別損失として計上したことで四半期純利益では減益に。

※2012年1月、パナソニック株式会社に吸収合併

トップインタビュー

これまで以上に、積極的なチャレンジを

Q パナソニックグループ再編関連の取り組みは終了しましたか?

A 大きな山場を越え、次のステップへ。緊張感を持って、成功に向けた取り組みを進めます。

2012年1月、パナソニックグループは新しい体制でスタートしました。
この再編にあたって必要なITシステム改編の成否は、グループにとって、また社会的にも非常に重大な関心事と認識しています。当社でも「必ず成功させる」という強い決意で、当初の想定よりも陣容を厚くして臨みました。その結果、新体制でのスタートにあたり、当社に任せていただいたネットワークの連携やグループ会社の社名変更にともなうシステム変更などのうち、この年末年始対応分までは、しっかりとやり遂げることができました。
大きな山場を越えることができましたが、これは終わりではなく、第一段階をクリアした段階だと考えています。まだ、システム改編の取り組みは続いています。引き続き、緊張感を持って取り組みを進めてまいります。

Q 2012年の取り組み方針は?

A 強みをさらに磨きあげることで、着実なステップアップをめざします。

2012年はIT資産を持たずに「活用する」という動きがさらに進展すると予測されています。DaaSをはじめとするクラウドサービスに、より注目が集まるでしょう。当社の方向性は、中期経営計画に示したとおりですが、強みである「シンクライアント」や「データセンター」、「プライベートクラウド構築」などの技術・ノウハウをさらに磨くことで、変化の激しいITの世界においても着実なステップアップをめざしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
前川一博

これからの電気自動車
～電気自動車の世の中でITが担う役割とは？～

田沢湖畔を運行するEVの観光タクシー

エコで注目の次世代自動車（EV）

今“電池”を動力源とする「電気自動車（EV）」が「エコにつながる」と、大きな注目を集めています。秋田県立大学システム科学技術学部の礒田陽次教授は「充電用の電気は発電所で石油を使って作られますが、ガソリンエンジンのような内燃機関よりもエネルギー効率が良いのです。トータルでもCO_2排出量が少ないと言われていることがエコとされる理由でしょう」と分析。このほか「静音」「安定感」「加速が良い」等の特徴を持つEVですが、一般家庭の電力使用量2日分に相当する電気を蓄えられることから、東日本大震災後には“電源供給源”としても期待されています。

EV普及の課題 ～インフラの充実とITの役割

一方、コストや走行距離が普及の障壁とされるEV。礒田教授は「最大の課題は“充電スタンド”、それも数分で充電できる急速充電器の普及でしょう。研究が始まった“非接触式（ワイヤレス）充電器”の実用化も待たれます。課金方法も課題です」と、インフラ整備のための技術革新も急務であると指摘します。
では、ITは課題解決に貢献できるのでしょうか。礒田教授は、充電スタンドが少ない現況から「周辺の充電スタンド情報を提供するシステム」の必要性を指摘。また、利用者の多様化を念頭に「万が一の際、充電スタンドの画面から問い合わせができる仕組みがあれば安心感が増すでしょうね」と話してくれました。

実証実験で見えてきたEVの課題 ～秋田県仙北市の担当者に聞く～

2010年から秋田県では「あきた次世代自動車実証コンソーシアム」によるEVの普及に向けた実証実験が行われています。これに参加する自治体のひとつが秋田県仙北市。“小京都”角館や水深日本一の田沢湖など日本有数の観光地で有名ですが、冬は全地域で平均気温が氷点下になり、深い雪に覆われてしまう気候の厳しい土地柄。仙北市総務部政策推進課主任の武藤寛幸氏は今般の実証実験への参画について「極寒かつ積雪量の多い地域における電気自動車のありかた、課題を明らかにするため」と説明します。
2011年1月、公用車、観光タクシーなどに3台のEVを導入し、データ計測を開始。早々に浮き彫りになったのは「暖房に電力を大量消費してしまう」という課題でした。ヒーターをつけたままでは、隣接する大仙市との往復約80kmの走行さえ難しいというのです。都市間の距離が離れており、一度の走行が長距離になる仙北市ならではの厳しい現実でした。
課題を解決し普及を進めるには、充電スタンドの増設もさることながら、電池の性能向上、メーカー互換性、規格統一なども重要だと武藤氏は指摘します。
課題ばかりに思える現状ですが、EVの特長として謳われる「排ガスが出ない」「音が静か」という点は、試乗会でも非常に高い評価を得たとのこと。
「EVの世界は日進月歩。急速に進化しており、次々に課題とされてきた部分が解消されているように感じます」と、武藤氏は今後の展開に期待をこめて話してくれました。

EV用充電スタンド運営支援システム ～パナソニック電工ISの“役立ち”とは？～

「あきた次世代自動車実証コンソーシアム」のEV実証実験では「eneview（エネビュー）」を用いた“充電スタンド運営支援システム”をご利用いただきました。eneviewの役割は充電スタンドでの充電量を収集し、そのデータをもとに課金する仕組みの検証です。その結果、技術的には実現可能であるものの、実用化に向けては課金情報の提供に加え、回収モデル（請求書発行やクレジットカード決済など）も含めたトータルでの仕組みづくりが必須だと感じています。また、インフラ普及には「充電スタンド保有者」「ドライバー」「（充電スタンドのある）地域」それぞれにメリットが必要です。礒田教授のご指摘にあった周辺の充電スタンド情報はもちろん、会員情報による囲い込み、充電待ちの間に行ける近くの観光地やレストランなどの情報提供にITは力を発揮するはずです。この取り組みで得たノウハウをeneviewのソリューションに活かしていきます。

（パナソニック電工IS　新事業企画グループ　藤田桂一）

「eneview Presentation Corner」2月1日オープン！

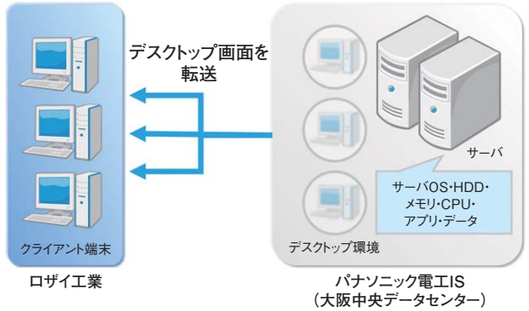
eneview（エネビュー）

充電スタンド運営支援システムとして、また、環境監視ソリューションとしてご提案している当社の「eneview」。2月1日、当社東京オフィスの実際の計測情報をもとに「見える化」の効果をご体感いただける「eneview Presentation Corner」を開設しました。

トピックス

1 ロザイ工業へクラウド型の仮想デスクトップサービスを導入

当社はロザイ工業株式会社 本社へDaaS（クラウド型の仮想デスクトップサービス）を導入し、2011年11月に本番稼動を開始しました。
今般のDaaSの採用にあたっては、導入コストを抑えながらIT資産の柔軟な運用管理を実現できる点と、ロザイ工業で標準的に使われているオートデスク社製CAD（設計ソフトウェア）「AutoCAD」を同社が利用可能である点をご評価いただきました。「AutoCAD」をシトリックス社製仮想デスクトップシステム「Citrix XenApp」の上で利用する事例は、これが日本初となります。
当社は2012年春、ロザイ工業 赤穂工場へもDaaSの導入を予定しております。今般の事例を契機として、建設業や製造業へ向けたデスクトップ仮想化のご提案を加速させてまいります。



2 仮想デスクトップシステム「VHD Professional™」をバージョンアップ

当社は12月20日、エクストリーミングテクノロジー株式会社製仮想デスクトップシステム「VHD Professional™」の新バージョンを発売しました。
新バージョンでは、端末の統合管理をより容易にする「アクティブアップデート機能」などを新たに追加し、メンテナンス性を向上。また、今般のバージョンアップに際し、本システムの保守体制も強化しました。

3 「Cloudforce 2011 Japan」へ出展

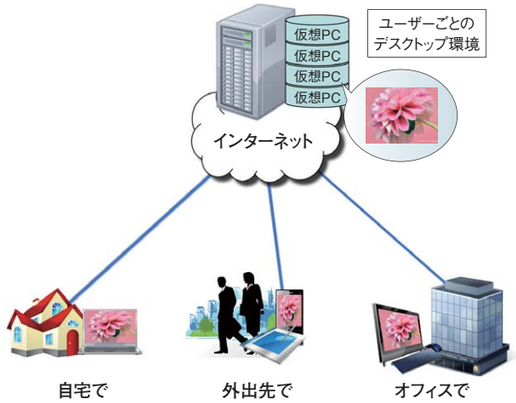
当社は、12月14日、15日に東京で開催された「Cloudforce 2011 Japan」へ出展しました。
当社ブースでは、パナソニック株式会社の業務用タブレット端末「BizPad」と当社のクラウド対応データ連携ソリューション「BizFit Connects」をご紹介。
イベントへの来場申込は1万人を超え、当日は大変な盛況となりました。

BizFit ビズフィット Connects コネクツ

IT用語の解説

DaaS【Desktop as a Service】

パソコンのデスクトップ環境をシンクライアント化し（仮想デスクトップ）、提供するクラウドサービス。DaaSの採用により、操作性は従来とほぼ変わりなく、パソコンやサーバの管理運用の負担軽減を実現します。

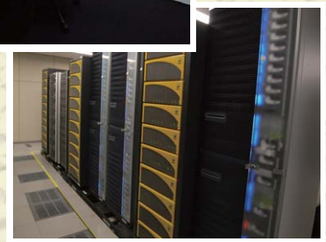


SNS【Social Networking Service】

社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービス。人と人とのコミュニケーションを促進させ、他人との繋がりを通じて新たな人間関係を構築する場の提供を主な目的としており、「mixi」や「Facebook」などが有名です。

ISアーカイブ ～これまでの歩みから～ ［2010年～］

Nextructure
ブリーフィングルーム



当社のサーバ・ストレージ統合で導入された「Egenera」と「3PAR」

ユーザーとしての経験をお客さまへ

会社設立から上場、そして現在に至るまで、当社は「ユーザーとしての経験や視点をお客さまにお届けする」ことに一貫してこだわり続けてきました。そのなかで近年は「プライベートクラウド」の構築に関する経験が多方面から注目を集めています。これは、IT化の進展で爆発的に増加したサーバ・ストレージの運用効率化・最適化に徹底して取り組むなかで培ってきた仮想化・統合化の技術がプライベートクラウドのユーザー先進事例として高く評価されていることによるものです。2010年からは、これまで自社内で培ってきた技術を結集し「Nextructure」としてお客さまにお届けしています。
「すべてはお客さまのために」―“期待どおりの満足”を実現するばかりでなく、満足を超えた“感動”へ。私たちはこれからも歩み続けてまいります。